

リビンマッチ「理想の庭」調査

駐車場の広さ、家庭菜園が魅力

手入れの大変さは不人気

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズ（東京都中央区、川合大無社長）は4月28日の「庭の日」（日本造園組合連合会制定）に合わせて「理想の庭」を調査した。同サイトを利用した20歳以上の男女600人を対象に調べたところ、庭の所有率は58.2%だった。

理想の庭について、庭がある人は「大きな駐車場がある」（31.2%）となり、「ガーデニングができる」（30.1%）、「物置がある」（27.5%）、「家庭菜園ができる」（26.6%）、「ウッドデッキがある」（26.1%）、「BBQなどガーデンパーティができる」（25.5%）、「洗濯物がたくさん干せる」（20.3%）、「子どもが遊べる」（17.2%）と続いた。

一方、庭がない人の理想の庭は「家庭菜園ができる」（29.5%）が最も多く、「ガーデニングができる」（26.9%）、「ウッドデッキがある」と「BBQなどガーデンパーティができる」が共に23.1%、「大きな駐車場がある」（21.8%）などが続いた。

ただ、庭がない人は、次の家で庭が欲しいと回答したのは31.1%にとどまり、68.9%と約7割がいらぬことがわかった。「手入れが大変」（61.3%）が主な理由だ。

現在庭がある人でも次の家には「庭はいらぬ」（30.4%）の理由も「手入れが大変」が77.4%を占めた。